

鶴岡市が取り組む地方創生プロジェクト

『第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に位置づける地方創生推進事業が、寄附の対象となります。

鶴岡市がいま特に注力する事業をご紹介します。

寄附
対象事業

企業版ふるさと納税のメリット

地域貢献・社会貢献
(SDGsの達成)

地域資源を活用した
新たな事業展開

法人関係税の
税額控除の拡大

鶴岡市との
パートナーシップの構築

各企業の希望に応じて、様々な形で
パートナーシップ・連携を進めています

など

お問合せ先

鶴岡市企画部政策企画課

TEL : 0235-35-1184

E-MAIL : seisakukikaku@city.tsuruoka.yamagata.jp

食文化創造都市推進事業



鶴岡の魅力的な食・食文化を活かし、産業振興・交流人口の拡大・地域づくりに取り組んでいます。

料理人や生産者、市民と連携した取組のほか、令和4年度には、アフターコロナにおける食関連産業のいち早い立ち直りや地域経済循環の強化を図る「食と食文化の魅力プロモーション事業」を実施します。

加茂水族館改築事業



世界一のクラゲ展示数を誇る「加茂水族館」が、令和4年度からリニューアル工事を行います。

研究棟を増築するほか、本体棟を改修し、クラゲ展示面積やレストランスペースを拡大します。飼育、研究、教育・学習機能の強化とともに、多客時の混雑緩和を図ることで、更なる魅力の向上を目指します。

伝統と文化 地域資源

奨学金返済支援事業



奨学金返済支援制度

若者の地元回帰を促進するため、市内への居住・就業を条件に、奨学金返済額に応じて最大201.6万円の支援金を支給します。

また、奨学金返済支援だけでなく、学生への就職支援や小中学校でのキャリア教育など、鶴岡市に住み、働いてもらうための取組を一体的に進めています。

第3子以降 保育料・副食費・給食費の無償化



子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国の無償化制度の対象とならない第3子以降の保育料や副食費の無償化を行っています。また、小中学校等の給食費について、第3子以降を無償としています。

今後も更なる負担軽減に取り組み、子どもを生み育てやすい環境づくりを推進します。

次世代の 担い手育成

地元出身学生等回帰促進事業



若者の地元回帰や地元定着を促進するため、地元企業の情報発信や企業見学等で若者や保護者が地元企業について知る機会を提供しています。そのほかにも、市外進学者の就職活動や企業のオンラインでの採用活動に対する支援、採用力向上を目指す企業向けセミナーの開催など幅広く事業に取り組んでいます。

農業人材育成確保事業



鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS(シーズ)」は農業の担い手の育成に向け、産学官が連携し、座学と実習による2年間の研修を行っています。

研修生は、持続可能な農業の技術と経営力を習得するため、農業の基礎・基本を学び、各自が思い描く就農に向けて日々研修に励んでいます。

酒井家庄内入部400年記念事業



徳川四天王の筆頭とされる酒井忠次を祖とする庄内藩酒井家。

令和4年、酒井家庄内入部400年を迎えて、城下町鶴岡の歴史や文化を発信するイベントなどを実施します。また、子どもや若者の地元愛を育む取組を行います。

「400年から学ぶ庄内 みんなでつなごう未来」をキャッチフレーズとして、鶴岡・庄内の持続可能な未来を創造していきます。

庄内自然博物館構想推進事業



自然学習交流館「ほとりあ」は、都沢湿地やラムサール条約登録地の大山上池・下池、高館山など豊富な自然環境を背景に、自然学習の拠点施設として、子どもたちをはじめ家族を中心に自然と触れ合う機会を創出しています。

今後、さらに地球温暖化対策等の環境教育を充実させるなど、事業を展開します。

世界に挑戦

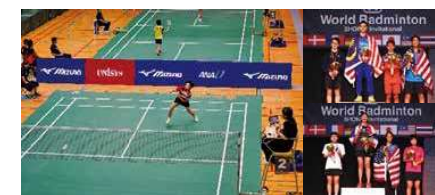
先端研究産業支援センター 拡張事業



世界が注目するバイオサイエンスの拠点「鶴岡サイエンスパーク」。

高度な研究開発、新規事業創出を支援するため「鶴岡市先端研究産業支援センター」のラボ棟を増築(拡張)します。ベンチャー企業、研究機関等の集積を促進し、世界に貢献するバイオフィン研究開発拠点を目指します。

国際バドミントンU16大会 支援事業



本市スポーツの振興と競技力の向上、鶴岡市(庄内・山形県)の知名度アップを図るため、競技水準の高い世界レベルの大会である「国際バドミントンU16」を庄内地域に招致し、大会開催を支援します。